

バリ島での恩を返したい 私が架け橋に

— profile
名前：奥田 晶子
出身地：兵庫県
趣味：エアロビクス・音楽



バリ島での写真



学生支援のため家庭訪問

帰国の2年前、移住セミナーで地域おこし協力隊の方と出会ったことが、最初のきっかけです。帰国後は通訳の仕事をしていましたが、利根町で外国人留学生が増えていることや、生活習慣やルールの違いから、地域の中で戸惑いが生まれている現状を知りました。実は私自身も帰国直後、日本の生活に慣れず不安で涙が出る日々があり、留学生も同じ思いをしているのではないかと感じました。海外で私を温かく受け入れてくれた人

— 利根町の地域おこし協力隊に応募したきっかけを教えてください
一昨年末まで、私はバリ島で暮らし、働いていました。レストラン経営から仕事を始め、その後はフォーシーズンズやリッツ・カールトンでバリ島初のウェディングコーディネーターとして勤務。さらにホテルのゼネラルマネージャーとして30年以上、ホテル運営、マーケティング、人材育成などに携わってきました。35年間の海外生活の中で、多くの国の人と共に働き、暮らしてきた経験から、多文化と共に生きることは私にとって当たり前の日常となっていました。

— メッセージをどうぞ！
まだ手探りの部分もありますが、まず大切にしたいのは信頼関係の構築です。お互いの文化や考え方を伝え合い、地域の皆さんとも交流しながら接点を見つけていきたいと思います。町の先輩方からも学びをいただき、それぞれの文化や国民性を尊重しながら、共生できる関係を築いていきたいです。

— 現在の活動や今後のビジョン
できるだけ多くの留学生とコミュニケーションを取るために、スーパーや栄橋付近など、学生が集まりやすい場所に足を運び、声をかけながら顔を覚えてもらうようにしています。
また、家庭訪問を実施し、生活の中で困っていることがないかを聞き取りながら、ごみ出しのルールや地域での生活マナーなどを一緒に確認しています。家賃や光熱費、アルバイトの状況など生活全体について話を聞くことで、安心して暮らせるよう支援しています。
多くの学生が複数人で暮らしているため、全員に情報が伝わるよう資料を配布したり、ポケット灰皿を渡すなど、具体的な工夫も行いながら地域とのより良い関係づくりに繋がっています。

文化は違えど同じ人 利根町らしい共生を

— profile
名前：池本 貴至
出身地：兵庫県
趣味：筋トレやランニング・散策



— 現在の活動や今後のビジョン
地域の方とネパール出身の留学生が交流し、身近な存在になることを目指し、町でネパール料理を提供するカルパナ食堂を運営する株式会社K-WORKS様のご協力のもと「ネパール料理でつながる会」を開催しました。

— 利根町の地域おこし協力隊に応募したきっかけを教えてください
もともと異文化に対する興味があり、大学では法学部に在籍しながら選択科目で文化人類学を履修しました。そこで外国の文化について学んだことが、異文化への関心を深めるきっかけになりました。東京の街を歩くと、今では多くの外国人を見かけます。実際に道を尋ねられることもあり、そうしたやり取りを通じて外国人の存在をより身近に感じ、多文化共生への関心がさらに高まりました。着任前は松戸市に住んでいましたが、移住先を考える中で、利根町は都市部との距離感が自分の感覚に近いこと、そして都内へアクセスしやすい場所にあることが大きな魅力でした。

— メッセージをどうぞ！
近年、地域では外国人の方が急激に増えており、戸惑いを感じている方もいらっしゃるのではないかと思います。留学生と地域の皆さんが調和して暮らしていくためには、留学生への支援だけでなく、地域の皆さんの思いや不安にも目を向けていくことが大切だと感じています。留学生は地域で暮らす「ご近所さん」であり、同じ地域の一員です。お互いに気持ちよく過ごせる、よい関係を築いていけたらと思っています。

— 現在の活動や今後のビジョン
できるだけ多くの留学生とコミュニケーションを取るために、スーパーや栄橋付近など、学生が集まりやすい場所に足を運び、声をかけながら顔を覚えてもらうようにしています。
また、家庭訪問を実施し、生活の中で困っていることがないかを聞き取りながら、ごみ出しのルールや地域での生活マナーなどを一緒に確認しています。家賃や光熱費、アルバイトの状況など生活全体について話を聞くことで、安心して暮らせるよう支援しています。
多くの学生が複数人で暮らしているため、全員に情報が伝わるよう資料を配布したり、ポケット灰皿を渡すなど、具体的な工夫も行いながら地域とのより良い関係づくりに繋がっています。



町内を歩きながら留学生にインタビューをしています

地域おこし協力隊主催！/ クリーンアップ活動



2/3.4.20の3日間で日本ウェルネススポーツ大学、日本グローバルビジネス専門学校、利根国際学院の生徒たちとクリーンアップ活動とごみの分別指導を実施しました。活動を通じて、留学生の美化意識の向上、日本の基本的なルールを同時に教えています。